

環境水道委員会 行政視察（案）

○ 大規模自然災害や火災に備えた防災・減災対策について

No.	視察項目	視察先	視察内容
1	実証実験から学ぶ テレビを活用した 「逃げ遅れゼロ」の 取組について	茨城県 ひたちのおた 常陸太田市	茨城県では災害時「逃げ遅れゼロ」の実現のため、家庭のテレビを活用した双方向情報伝達システムの構築に取り組んでおり、2月には常陸太田市で実証実験が行われた。その結果について調査し、本市での「逃げ遅れゼロ」の取組の参考とする。
2	先進的な防災・減災 対策の取組について	横浜市	先進的な防災・減災対策の現場を直接訪問して、ICT（情報通信技術）の活用や地域連携による実践的な取組を視察し、本市の防災力向上の参考とする。 ・防災センター、指令センター見学 ・地域防災拠点や避難所及び 防災インフラ（緊急輸送路や排水ポンプ場等）の現地視察 ・市民参加型防災訓練や防災教育プログラムの体験
3	防災拠点の整備と 防災体験学習について	東京臨海広域防災公園・そなエリア東京 （東京都江東区）	首都圏直下地震など大規模災害における政府の現地対策本部が設置される広域防災拠点として整備された公園と、その中にある防災体験学習施設を視察し、防災・減災対策のさらなる充実を図る本市の参考とする。
4	南海トラフ地震に 備えた取組について	佐賀地区津波避難 タワー （高知県黒潮町）	南海トラフ地震に備えた避難タワーであり、住民主体の運用と防災教育の拠点のとして設置された同所を視察し、本市の防災・減災対策の参考とする。

○ サステナブルシティを目指した取組について

No.	視察項目	視察先	視察内容
5	ごみの戸別収集 全品目試行の取組について	神奈川県藤沢市	同市は可燃ごみ、不燃ごみの戸別収集をしていたが、今年4月からこれまで集積場で回収していた段ボールや古布類など4品目を新たに個別収集の対象とした。 以前から戸別収集としていたのは高齢者にとっては家から離れた集積場へのごみ出しが負担であったことから、高齢者への支援が発端となったとされており、高齢化が顕著な本市のごみ行政の参考とする。
6	食品ロスの削減と 生ごみの減量化に 向けた取組について	宮崎県新富町	南九州大学とパナソニック（株）と産学官共同で食農循環プラットフォーム構築の実証実験を行っている同町を視察し、本市の参考とする。 ※生ごみをパナソニック製の処理機で乾燥させ町が回収後にコンポストで堆肥に変換→その堆肥は共同管理のコミュニティー農園で使用され、そこで育てた野菜を町民に提供
7	生態系の再現を目指 す取組について	アクアマリン ふくしま (福島県いわき市)	環境教育や体験学習の場として活用され、地域住民との連携を積極的に行っている同施設の「蛇の目ビーチ」や田んぼのビオトープの併設による陸と海をつなぐ生態系の再現を目指す取組を視察し、本市の参考とする。
8	地域資源循環・再生 可能エネルギーの推 進について	バイオディーゼル 岡山 (岡山市)	地域から排出される廃食用油や食品残さを原料とし、再生可能エネルギーを製造・活用している同施設を視察し、ごみの減量化や再生可能エネルギーの推進等を目指す本市の環境政策の参考とする。

○ ライフラインの強化と持続可能な上下水道事業の推進について

No.	視察項目	視察先	視察内容
9	人工知能（A I）や人工衛星を活用した水道管更新事業について	福島県 会津若松市	水道管を更新する優先順位を決める際に人工知能（AI）と人工衛星による診断結果を基に判断し、工事の効率化と漏水の早期発見につなげている同市の取組を視察し、今後料金収入の減少が見込まれる一方で、老朽管の更新に多額の費用が必要となる本市の上下水道事業の参考とする。
10	I C T（情報通信技術）を活用した取組について	横浜市	スマート水道メーターの実証導入や管路のセンサーによる監視システムの構築など、I C Tを活用した先進的な取組を視察し、本市の上下水道事業の参考とする。
11	アセットマネジメントを活用した取組について	横浜市、 埼玉県本庄市、 石川県金沢市 など	施設の効率的な維持管理や更新計画の策定において重要な役割を果たすアセットマネジメントを活用した他市の取組を視察し、本市の上下水道事業の参考とする。